

株式会社日本人事総研

〈JIP コンプライアンスセミナー〉



【第2回】 中小企業で発生する コンプライアンス問題

2024年8月

ハイテクノロジーコミュニケーションズ株式会社

天野 正博

© High Technology Communications, Inc. All Rights Reserved.

HTC コンプライアンス、全力支援

HTC（ハイテクノロジーコミュニケーションズ株式会社）は、「コンプライアンス、全力支援」のスローガンで、従業員の意識と行動を変えるコンプライアンス推進活動を支援します。従業員の視点にこだわり、わかりやすく、親しみやすいコンプライアンスツールを企画・制作しています。

年間サポート

コンプライアンス支援のエキスパート

こんぷろカスマ[®]

毎月新しいコンテンツが使い放題

契約社数：1200社以上

情報サイト



【第1回】 2024年6月

コンプライアンスとは？

【第2回】 2024年8月

中小企業で発生するコンプライアンス問題

【第3回】 2024年10月

コンプライアンスで重要な「誠実さ」とは？

【第4回】 2024年12月

VUCAの時代に求められるコンプライアンス

【第1回】 2024年6月

コンプライアンスとは？

【第2回】 2024年8月

中小企業で発生するコンプライアンス問題

【第3回】 2024年10月

コンプライアンスで重要な「誠実さ」とは？

【第4回】 2024年12月

VUCAの時代に求められるコンプライアンス

1. コンプライアンスとは何か？
（第1回目のおさらい）
2. 中小企業で起こるコンプライアンス問題とその対策



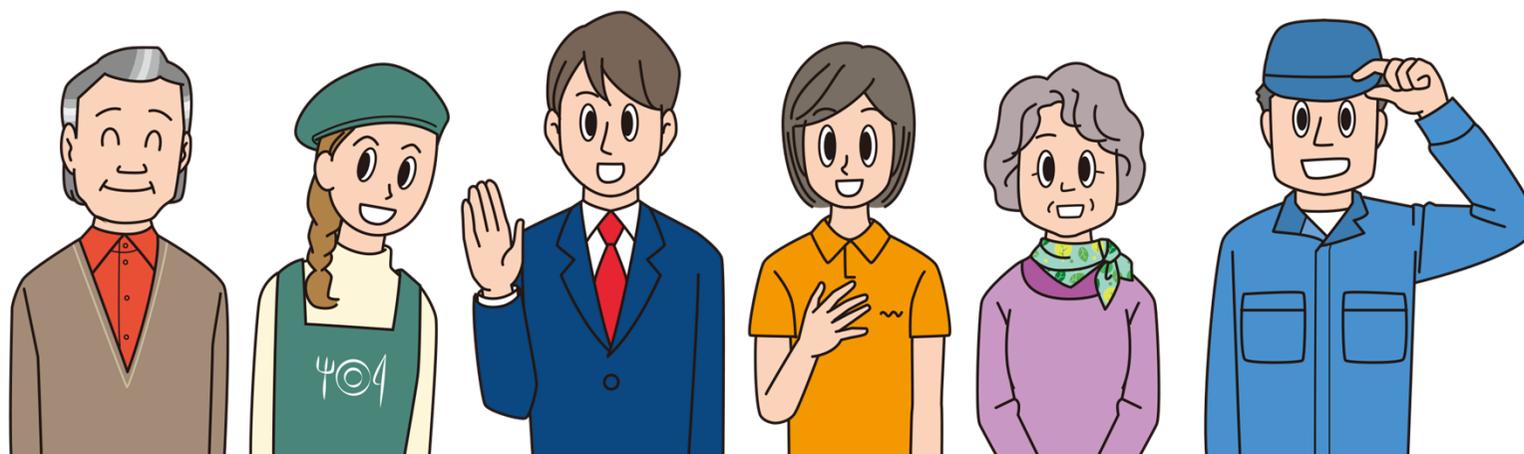
1. コンプライアンス とは何か？

(第1回目のおさらい)



コンプライアンス = 社会の要請に応えること

過去（20年ほど前）には、コンプライアンスは「法令順守のこと」という考えが一般的でしたが、現在は多くの企業が**社会の要請に応えること**と考えています。



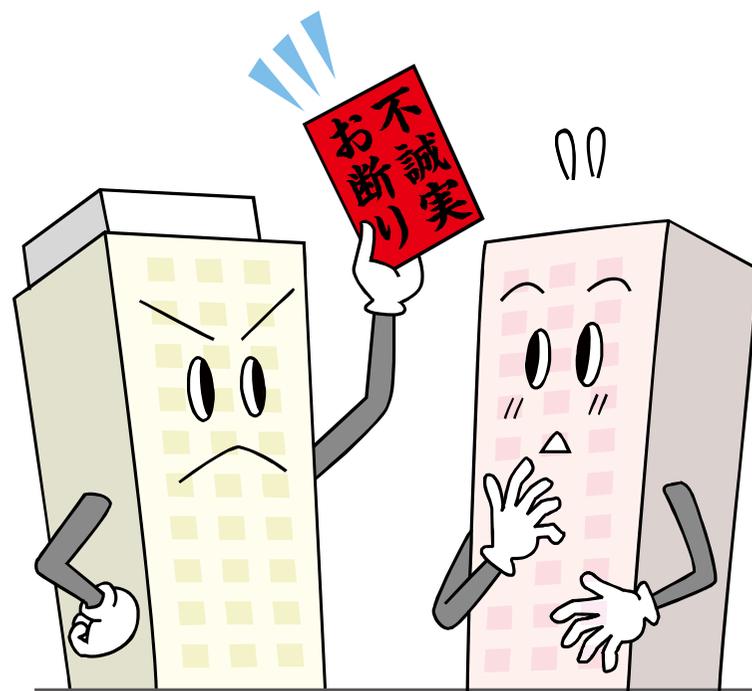
社会とはステークホルダー



ビジネスには多くのステークホルダー（利害関係者）が関わっています。これらのステークホルダーの要請にバランス良く応えることが、企業には求められます。

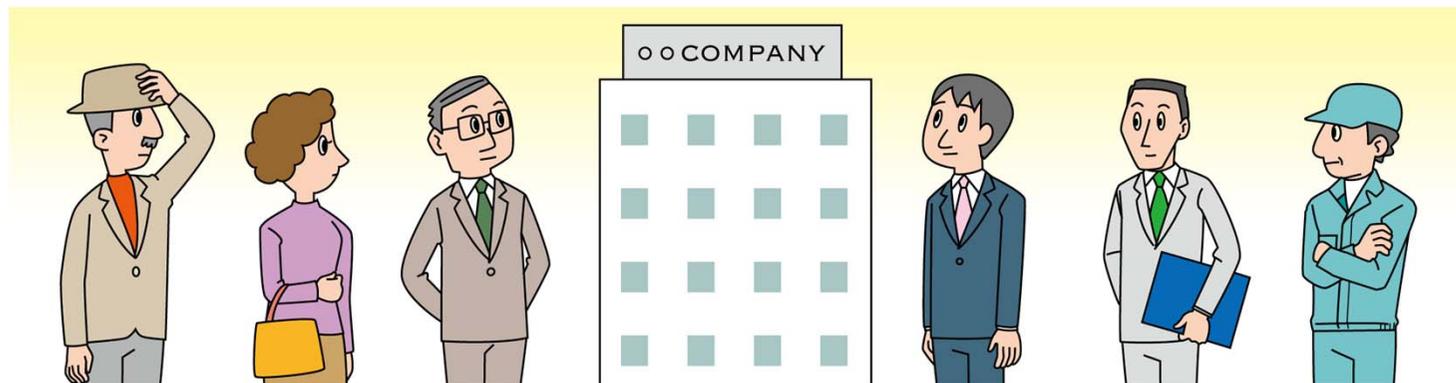
コンプライアンスは企業運営に必要なもの

自社やサプライチェーンでコンプライアンス違反が起きると、企業は大きなダメージを受ける。たった一度のコンプライアンス違反であっても、失った**信用**を取り戻すには、長い年月が必要。



1章のまとめ

- コンプライアンスとは、**社会（ステークホルダー）の要請に応えること**
- 信用は積み重ねていくもの。たった一つのコンプライアンス違反で、**信用**は崩れてしまう



2. 中小企業で起こる コンプライアンス 問題とその対策



発生しやすいコンプライアンス問題

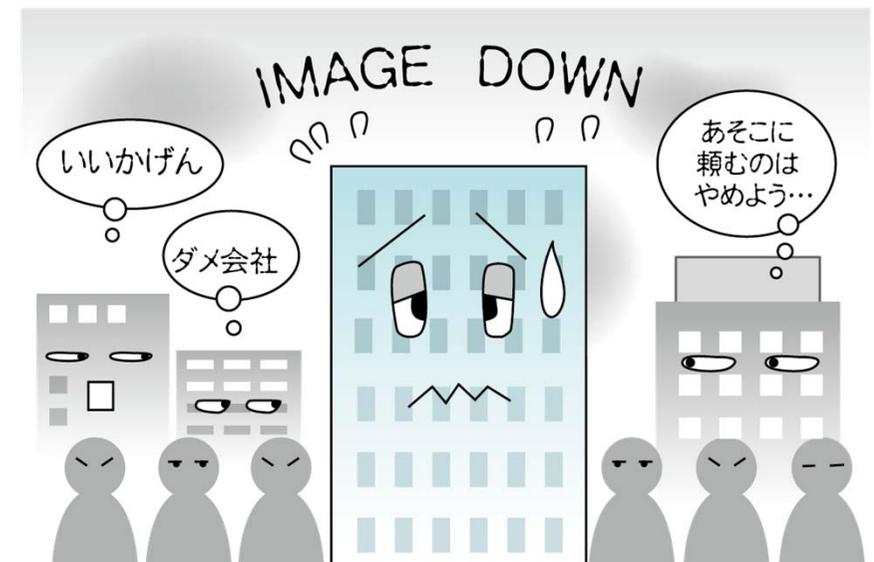
コンプライアンス上の問題として、中小企業で発生しやすいもので、かつ影響が大きいものは、次の3つです。

① ハラスメント問題

② 労務問題

③ 情報漏えい

※ 食品の産地偽装など、発生頻度は少ないものの、影響が甚大なものは省きます。



① ハラスメント問題

行き過ぎた指導や、人格を否定するような言動（からかい）など、多くの企業で起こりうる問題です。

問題が発生する理由は様々ですが、主な理由は

- ・ 知識が不足している
(知らないルールは守れない)
- ・ 意識が低い／他人事
です。



①ハラスメント問題の対策(一例)

2022年4月より、中小企業にも「パワハラ防止法」が適用され、パワハラ防止対策が義務付けされました。

それを理由に、まずは「ハラスメントとは何か」を知ること、身近で起きるハラスメントについて、協議すること、解決が難しい場合は、相談窓口を使うことなどを学習します。

意識を途絶えさせないために、定期的な意識啓発活動が効果的です。



【補足】コンプライアンスに特効薬はありません。

企業・団体のコンプライアンス推進は、企業風土・組織風土の構築そのものです。

短期では効果が現れないことが多く、1～3年程度で変化の芽が見えてくるなど、長い年月が必要です。

コンプライアンス推進活動は、企業・団体のより良い未来を創るための活動といえます。



②労務問題

中小企業では、長時間労働やメンタル不調者の発生などのリスクが高く、なかなか是正されないことがあります。

理由は、

- ・ 長時間労働が美化されている
- ・ 特定の人への業務集中
- ・ 慢性的な人手不足

などです。



②労務問題の対策(一例)

まずは、会社がきちんと状況を把握できるよう、「正しい報告」が評価される風土を作ることが大切です。

また、現場の従業員を交えて、どのような労務についての課題はあるのかを協議することも必要です。

労務問題は、個人だけで解決することは難しく、組織として解決する姿勢が重要です。



個人レベルの改善だけでは



厳しいなあ…

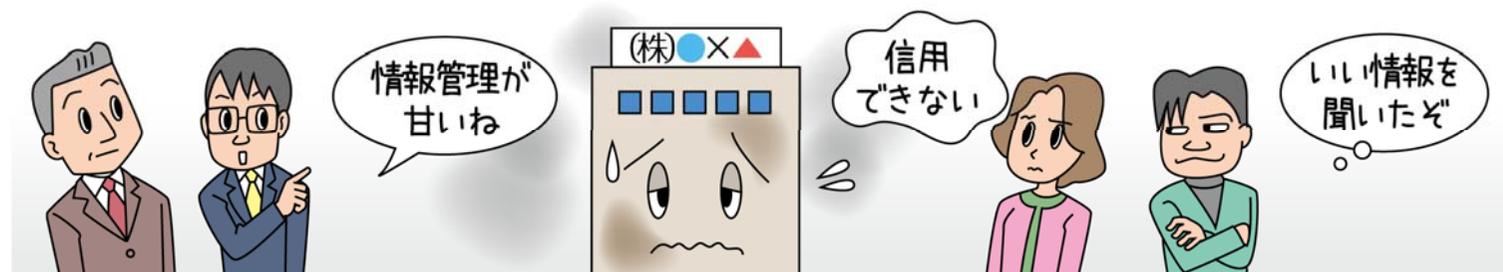
③情報漏えい(情報セキュリティ)

中小企業だけでなく、多くの企業・団体でリスクとなるのが、情報漏えいです。一度漏えいした情報を無傷で取り戻すことは難しく、漏えいした情報の種類によっては、被害者への損害賠償の支払いが必要になる場合もあります。

情報漏えいが起こる理由は、

- ・うっかりミス
- ・ルール違反

などです。



③情報漏えい(情報セキュリティ)の対策(一例)

情報＝お金と同義であることを繰り返し伝えて、嚴重に管理すること、情報漏えいのダメージについて定期的に周知することが大切です。

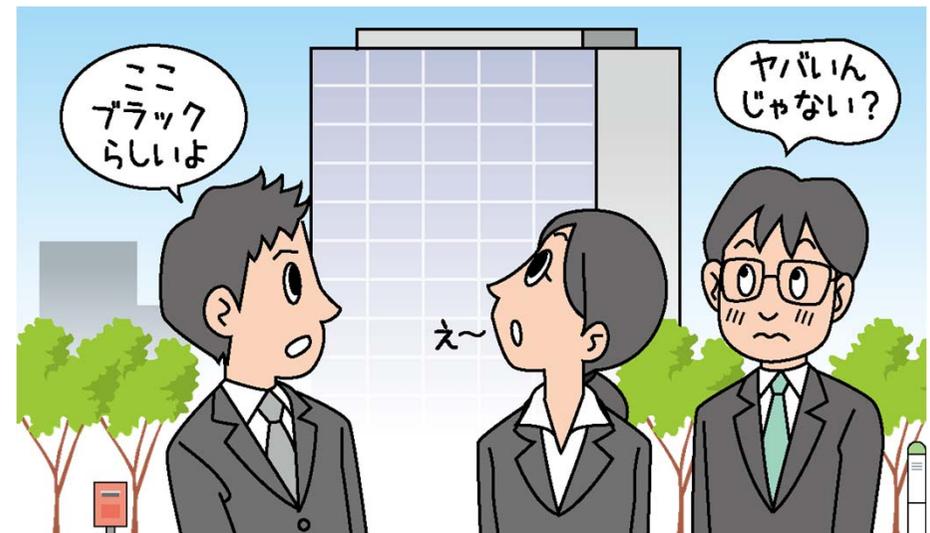
また、ファイルのやり取りでは、万一の漏えいに備えて、ファイルにパスワードをかけることや、よりセキュアなファイルストレージを利用して外部にファイルを送るなどの「しくみ」で対策することも大切です。



コンプライアンス違反が発生すると

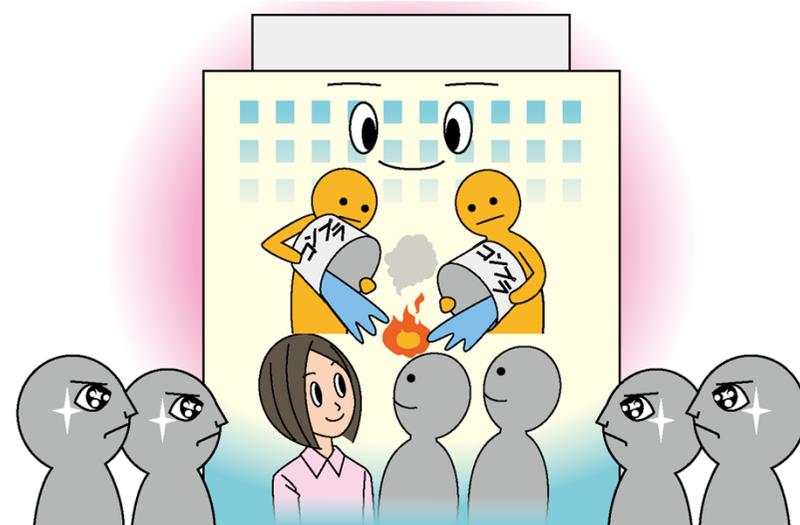
中小企業でコンプライアンス違反が発生すると、従業員を確保することが困難となり、会社の成長が阻害されることや、事業計画の変更を余儀なくされる場合があります。

また、インターネット上にコンプライアンス違反の事実が残ることで、信用をなかなか回復できない場合もあります。



2章のまとめ

- ・ 中小企業で発生しやすいもので、かつ影響が大きいものは「ハラスメント問題」「労務問題」「情報漏えい」の3つ
- ・ 予防のためには、「知ること」と「意識を途切れさせないこと」が重要
- ・ 個人の問題ではなく、組織の問題として、コンプライアンス問題を認識する



ご視聴いただき、ありがとうございました。

本日の内容は、先生方の顧問先企業からのコンプライアンス相談や、顧問先企業へのコンプライアンスのアドバイスにお役立ていただければ幸いです。